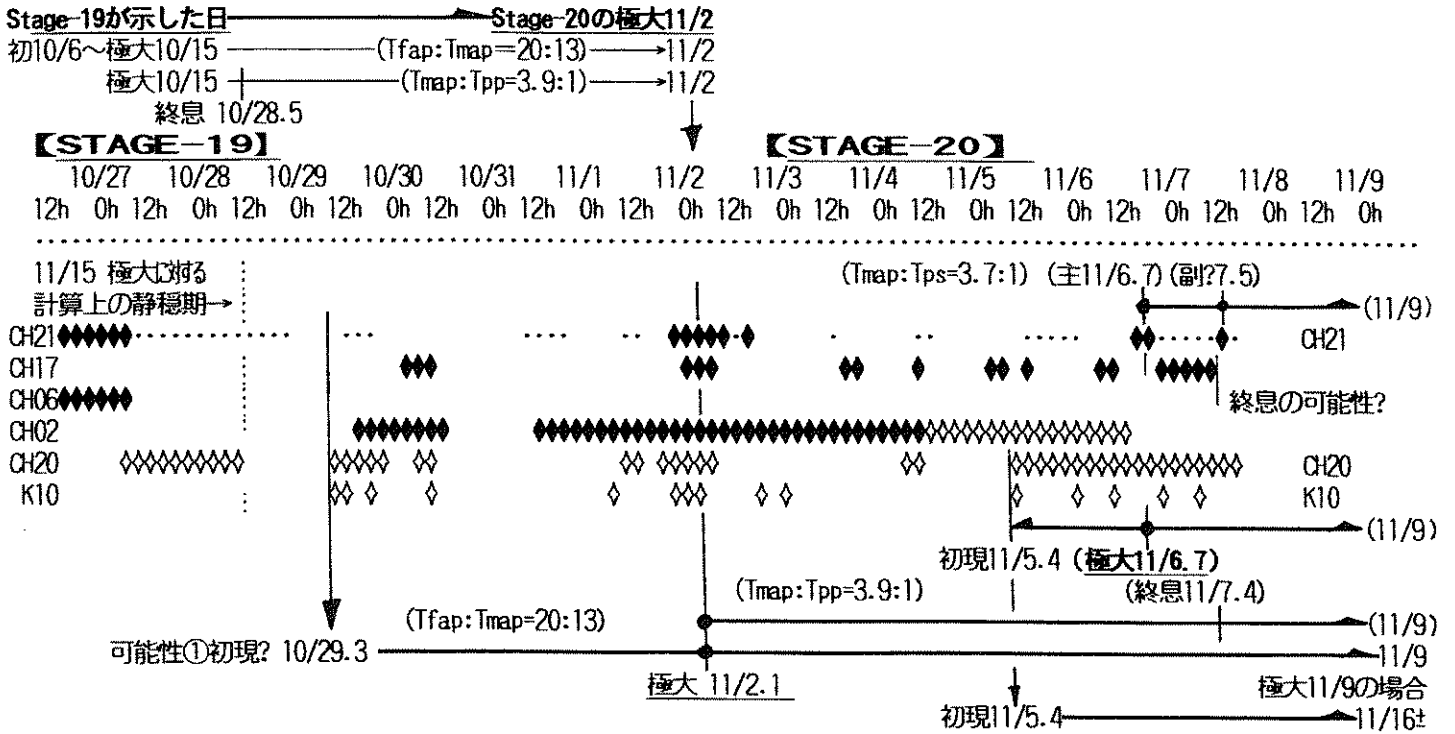


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況報告 STAGE-20 → 11/09を示す

CH17に前兆再出現なければ11/09発生 11/09極大の場合11/16示す



CH2 特異終息・11/05初現認識 → 極大=11/06 or 11/09

2008年07月から丸8年4ヶ月継続した、地殻地震が推定される過去最長継続前兆No.1778は、第19ステージが示した11/2に、第20ステージの極大が観測されました。前情報で可能性を考えた11/4副極大の可能性は誤認でした。11/6.7にCH21が糸状特異となり、極大認識できます。11/5.4よりCH20に継続的に弱い特異が出現したし、11/6.7極大に対する初現の可能性が考えられます。

11/5.4初現～11/6.7極大認識では、 $T_{fap}:T_{map}=20:13$ 経験則より、11/9±を示します。

11/9が地震発生日ではなく、次第21ステージ極大となる場合には、既に初現が現れている可能性があります。この11/9極大の初現を前述と同じ11/5.4とした場合には、11/16を示します。

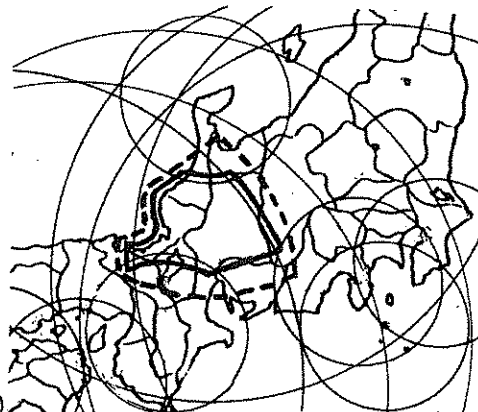
上図右側に記したCH21, 20, K10は11/9発生の場合でも11/8の夜まで終息しないことが計算できますので継続すると思われます。しかし11/9発生が正しい場合はCH17は今後再出現しない可能性が高いと推定されます。明日の11/8夕刻段階でCH17に静穏状態が続いた場合は11/9発生の可能性大。明日夜にCH20, 21も

◆推定領域：右図点線領域内付近＝大枠推定領域
 太線領域内付近＝可能性考え易い推定領域

◆推定規模：M7.8 ± 0.5

◆推定時期：
 可能性1) = 11月9日 (誤差あっても10日)
 可能性2) = 11月9日に極大が出現した場合は
 11月16日の可能性有。

◇推定地震種：震源浅い陸域日本列島の地殻地震
 ◇推定発生時刻：午前9時±1 (又は午後6時±3)



全て静穏化すれば11/9確定となりますが、明日夜段階でCH21に特異前兆が顕著出現の場合は、11/9極大の可能性が高く、11/5初現に対する極大11/6.7は誤り。11/9極大が観測された場合は第21ステージは11/16±を示します。

明日夕刻までの観測で、どちらの可能性が考え易いか判明できた場合は続報予定です。但し11/9にならないと確定できない可能性もあり得ます。

※HP担当者の方の仕事等の都合で明日11/8の続報のHP更新は間に合わない可能性も有。